

公益社団法人 玉川法人会 広報誌

# tamagawa 公論

2014.8 Vol.43

たまでんBOARD 第256号 合併号



特集

第4回通常総会  
我が家の防災対策

第4回 通常総会

会長挨拶

公益社団法人 玉川法人会 会長 阿部友太郎

祝辞

玉川税務署長 太田 律子

通常総会・懇談会

第1部 総会

表彰状・感謝状贈呈

第2部

懇談会

大平悦子魚沼市長謝辞

特集 いざという時！「我が家の防災対策」

法人会に対する防災への期待

船本 貴一

我が家の防災対策

鈴木 健二

小さな防災対策2つ

江口 響子

我が家の防災

坂東 義治

やがて来るであろう「大震災」への備えは万全か、って？

大鎌 博

地震への備え

松山 仁

我が家の防災

森 栄

我が家の防災対策

丸山 正高

我が家の大震災の備え

若山 晶

防災に対する備え

末次 顕子

我が家の防災の備え

上田 恭子

世田谷区防災マップアプリ

たまでんBOARD「256号」

8月・9月行事予定

高藤新署長 着任のご挨拶

理事会・税務署幹部名刺交換会

活動報告（委員会・支部・部会・同好会）

特別寄稿

医学の臨床研究・臨床試験におけるNPO法人の役割と必要性

特定非営利活動法人 小児臨床研究支援ネットワーク理事 秋元 信吾

## 第4回通常総会

### 御挨拶



公益社団法人玉川法人会

会長 阿部 友太郎

本日はお忙しい中、第4回通常総会に多くの皆様にご参加いただき感謝申し上げます。

また公務ご多忙の中、玉川税務署より太田署長並びに大平魚沼市長様はじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席いただき厚く御礼申し上げます。

さて平成25年度は公益社団法人の基本方針に則り、税知識の普及、納税意識の高揚に努めて、税制税務に関する提言を行い、適正公平な申告納税制度の発展と税務行政の円滑な執行に寄与してまいりました。

また地域社会の発展に寄与するとともに、社会貢献活動にも積極的に取り組みました。主な事業活動としては昨年同様、玉

川税務署、東京税理士会玉川支部の三者でeTax普及推進協議会を開催し、普及活動に努めました。

今年度は新たな試みとして玉川管内の小中学校にお願いして、児童にeTaxのリーフレットを配布し、ご家族の皆様にもご覧いただくとういう、新しい広報活動を実施させていただきました。また法人会役員は全員がeTaxを利用していただけのような協力要請をしております。税務懇話会を通じて「未来にeと広げよう」宣言をして地域に密着したPR活動も行いました。eTaxは納税者の利便性を図るとともに税務行政の効率化にもつながっておりますので利用率の向上をめざして、積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

このほか租税教育活動始め多くの税に関わる事業を実施してまいりました。特に税に関する絵はがきコンクールには管内小学校の多くの児童から作品が出品され尾山台小学校の小池涼君が全国法人会総連合の女連協会長賞に選ばれました。東京都から要請されおります地球温暖化対策への取り組みにつきましては30社を超える会員の皆様の協力により報告書を提出することができました。毎年実施されている献血活動。中学生を対象にした職場体験学習。和太鼓コンサート。被災法人会支援募金活

動など多くの社会貢献活動を行っております。

また本日はご来賓としてご出席いただきました魚沼市長様のご協力で10年間継続してまいりました田植え稲刈り体験なども実施されております。

会員のための福利厚生事業として「Tamagawa絆プロジェクト」を立ち上げ会員増強並びに経営者大型保証制度を実施し福利厚生事業の充実をはかりました。

平成26年度の事業も前年同様、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献するとともに税務行政の支援、社会貢献活動及び障害者支援活動に積極的に取り組むとともに会員増強や福利厚生の充実をはかり会員基盤の強化をはかってまいりたいと存じます。

特に企業の税務コンプライアンスの向上として企業内に置ける内部統制面や経理面に関する自主点検を推進しております。

経営者の皆様がチェックシートを活用し、企業自らが自主点検することを通じて税務コンプライアンスを向上させ、自社の成長を目指し税務リスクの軽減につなげていけるよう期待します。

ところで日本経済は安倍総理が提唱したアベノミクス効果により経済も緩やかに回復傾向が見られるようになりました。デフレの脱却も進んでまいりました。

た。このような中で消費税が3%引き上げられ8%になりましたが、思ったより景気は悪化しておりません。また来年度の消費税2%引き上げも今年の10、11月の景気動向を見てから実施する予定になっております。政府は民間投資を引き出す成長戦略、規制緩和問題に積極的に取り組む姿勢を示しておりますし、オリンピックも決まりましたので日本経済は序々に回復していくのではと期待しております。

少子高齢化や経済のグローバル化が進む中、社会保障費の増加は財政状況をますます圧迫していきます。社会保障の充実、財政の安定化を目指すには国民一人ひとりが痛みを伴わなくてはなりません。行財政改革を実施し無駄をなくすとともに社会保障と税の一体改革をどのようにして進めていくのが良いのか考える時期がきたように思います。

我々中小企業を取り巻く環境は厳しい状況が続きますが個々の企業が成長に向けて自助努力を積み重ねていくことが、我が国の成長を高めることにつながっていくと思えます。皆様の力で将来安心して生活できるような国を目指していきましょう。

結びにあたり会員皆様のご健勝ご多幸とご事業のますますのご繁栄を祈念申し上げます。

## 御祝辞



玉川税務署

前署長 太田律子

平成26年6月現在

本日は全ての議案が滞りなく審議され承認されました。誠にありがとうございます。それからたゞいま、感謝状・表彰状を受賞されました皆様本当におめでとうございます。また昨年11月の納税表彰式で受賞された皆様。それから明日受賞される予定の皆様も含めまして本当におめでとうございます。皆様方のご尽力に対して心から敬意を表する次第でございます。

玉川法人会の皆様、今ご説明がございましたけれども幅広い範囲でいろいろな活動をしていただいております。税に関する活動を中心にしつつ、その他にも地域に密着した公益活動もいろいろと多方面で行っていただいております。

私も昨年7月に玉川税務署に参りまして、玉川法人会の皆様と色々な場面で一緒に活動させていただきました。その中でもいくつか記憶に残ることをお話しさせていただきます。

まず今日、感謝状を差し上げました高橋さんの件なんですけど昨年秋の和太鼓コンサートに初めて参加させていただきました。その時に演奏の本当に素晴らしいことに感動いたしました。大人の方の演奏も、本当に素晴らしいことでした。私たちの演奏がまた素晴らしいことだったんですね。本当に一生懸命太鼓をたたいてくれた姿。その姿を見ておられますと、こういう太鼓を演奏できる子供たちは、きっと大人になっても悪いことはしないだろうなあ、いい大人に育つてくれるだろうなあ、というふうになんか感動したのと同じに衣装も素晴らしいので、実は昨年11月の納税表彰式では急遽お願いいたしました。高橋さん以下、和太鼓の演奏とそれから「未来にeこと広げよう宣言」というタイトルも高橋さんに書いていただいたということ。本当にお世話になりました。私も何も出来ませんが今日は感謝状を贈呈させていただきました次第です。

そのほかいろいろ記憶に残るものもあります。先ほど会長からご紹介ありましたeTaxの普及にも一生懸命取り組んでいただいております。

今年、法人会と税理士会支部と私どもの三者でいろんな協議を重ねまして、なんかいいアイデアがもう少ないだろうかと協議をさせていただきました。そういう中で新しいアイデアが生まれ、世田谷区の教育長さんのご協力も得まして、世田谷区内玉川税務署管内の小中学校の児童生徒に、所得税の申告を国税庁のホームページを使ってやるとしてもいいですよ、というふうなご案内を書いたリーフレットを、小中学校の児童生徒さんにお渡しして、それをご家庭に持って帰ってご父兄に見ていただくという、新しい形の広報を実施させていただきました。こういう活動はほかのところではやっていないのではないのかなと思っております。そういったことも含めまして、今までの良き伝統は伝統として残して、これから日本もいろいろと変わろうと思っております。

これから人口が減っていくという厳しい時代の中で、今までどおりの素晴らしい日本を作り、ほかの国からも例の大震災の時にも、あの日本人はこんな大変

なことが起きているのに冷静に国民が暴動を起さず頑張っているのかという賞賛の声があったように、そういう日本のいい伝統を残しつつ、時代の変化に対応しながら、より良い日本を引き続き守っていくにはどうしたら良いのかということをとまに考えていかなければいけないのかなと思っております。

税務行政もそういった中で変わらなくてはいけないことがたくさんあるんですが、これからは法人会の皆様のご支援ご協力が、これまで以上に必要になると考えております。これからも私も税務行政に対し引き続きご支援を賜りたいと願っております。

結びにあたりまして公益社団法人玉川法人会の益々のご発展と本日ご出席の皆様のご健勝とご事業のご繁栄を心からご祈念申し上げます。私の御祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



# 第4回 通常総会・懇談会

日時 6月11日(水)

17時30分～21時

場所 セルリアンタワー東急ホテル  
公益社団法人玉川法人会の第4  
回通常総会が、玉川税務署の太田  
律子署長をはじめ多数のご来賓ご  
臨席のもと、去る6月11日(水)午後  
5時30分よりセルリアンタワー東  
急ホテルB2ボールルームにお  
いて盛大に開催されました。

総会では、会員総数1560社  
の過半数を越える799社(委任  
状含む)の賛同を得て、各号議案



議事進行する阿部議長

の審議に入りました。1、2号  
議案については、賛成799社、  
棄権1社で承認されました。3、  
4号議案についてはすでに理事会  
で承認されており、その内容につ  
いて報告されました。  
続いて、会員増強功労等に対す  
る表彰状・感謝状の贈呈が行われ  
ました。特に今回は玉川税務署太  
田署長より第4支部高橋進さんの  
社会貢献事業などへの永年の功労  
に対し「感謝のことば」が授与さ  
れました。また田植え稲刈り体験  
学習の開催10年目にあたり、ご当  
地の新潟県魚沼市へ玉川法人会よ  
り感謝状が贈呈されました。



ご挨拶をする太田署長

第2部の懇談会では、保坂展人  
世田谷区長、田植えの開催地であ  
る魚沼市の大平悦子市長も祝辞を  
述べられ、乾杯の発声を高橋進さ  
んが行い、今年の総会は例年と  
違った雰囲気で大変盛り上がり、  
和やかな懇談が続く楽しい会とな  
りました。



開会前の総会の様子



大鎌副会長挨拶で総会は始まりました



第4号議案説明の宮崎副会長



第3号議案説明の森副会長



第2号議案説明の大塚副会長



第1号議案説明の坂東副会長

# 第1部 総会

(敬称略)

午後5時30分～6時50分

1 開会のことば  
司会 松浦 政幸

2 会長挨拶  
副会長 大鎌 博  
会長 阿部友太郎

3 議長選出  
議長 阿部友太郎

4 議事録署名人選出  
第6支部 鈴木準之助  
第7支部 草野 力

5 議題  
第1号議案 平成25年度事業報告承認の件  
第2号議案 平成25年度収支決算報告及び  
監査報告承認の件  
第3号議案 平成26年度事業計画報告の件  
第4号議案 平成26年度収支予算報告の件

6 感謝状・表彰状の贈呈ほか  
(1) 玉川税務署長からの感謝状

▼「感謝のことば」の贈呈  
高橋 進

(2) (公社) 玉川法人会  
▼田植え稲刈り体験学習10周年  
を迎え、特別感謝状の贈呈  
魚沼市長 大平 悦子

(3) (公社) 玉川法人会 表彰状・感  
謝状贈呈

玉川法人会から感謝状の授与が行われました  
(左より阿部会長、大平魚沼市長、太田署長)



阿部会長より大平市長に感謝状を授与



太田署長より高橋さんに「感謝のことば」を授与



玉川法人会から感謝状の授与が行われました  
(左より阿部会長、大平魚沼市長、太田署長)



功勞感謝状を代表授与する兼子成昭氏(右)



功勞表彰状を代表授与する大嶽公彦氏(右)

▼会員増強功勞に対する表彰状・  
感謝状及び記念品の受賞者  
表彰状の部(5人社以上) 1名  
大嶽 公彦

感謝状の部(2人社以上) 16名  
兼子 成昭・鍋島 増男  
井上 俊治・松野 順子  
鈴木準之助・若山 晶  
森下 隆・仲野 貴乃  
鈴木 明彦・清水 明洋

▼(公財) 全国法人会総連合  
(二社) 東京法人会連合会  
表彰受賞者披露  
(公財) 全国法人会総連合  
功勞者表彰  
上野とめ子  
▼(二社) 東京法人会連合会  
会員増強表彰  
大嶽 公彦・兼子 成昭  
鍋島 増男

▼協力団体・協力企業に対する感  
謝状の贈呈  
大同生命保険株式会社  
(福利厚生制度並びに会員増強  
に貢献)  
アメリカンファミリー保険会社  
(福利厚生制度に貢献)  
(4) 平成25年度納税表彰式に於ける  
受彰者披露  
▼玉川税務署長表彰状受彰  
松浦 政幸・大島 光隆  
▼玉川税務署長感謝状受彰  
井上 俊治・草野 力

上平 亮・井山 利一  
大鎌 博・阿部 仁一  
藤井 悦男・鈴木 芳昭  
▼受託保険会社推進員による会員  
増強に対する特別功勞者  
高山 玲子(15人社)  
浅海 尚美(9人社)  
井出 光代(9人社)  
佐藤ひかり(5人社)  
吉田 祐子(2人社)



協力団体・協力企業に対する感謝状の贈呈  
アメリカンファミリー保険会社様(右)



会員増強功勞の  
大同生命保険株式会社の高山玲子さん



懇談会開会挨拶 若山副会長

- 午後7時～8時30分  
司会 中村 匡秀
- 1 開会のことば 大鎌 博
  - 2 会長挨拶 阿部友太郎
  - 3 来賓祝辞 玉川税務署  
副署長 高田 哲好 様  
世田谷都税事務所  
所長 喜名 恵子 様  
世田谷区長 保坂 展人 様
  - 4 魚沼市長ご挨拶 大平 悦子 様
  - 5 来賓紹介 宮崎 巖
  - 6 乾杯 高橋 進
  - 7 中締 森 栄
  - 8 閉会のことば 坂東 義治

第2部 懇談会



乾杯のご発声の高橋さん



保坂展人世田谷区長



喜名恵子世田谷都税事務所長



玉川税務署高田副署長



本年は一段と盛況の総会でした



懇談会閉会挨拶 森副会長

新潟県魚沼市長に  
玉川法人会より感謝状を贈呈

謝辞

魚沼市 大平市長

ただいまご紹介にあずかりました魚沼市の大平悦子でございます。本日は玉川法人会の定期総会大変おめでとうございます。そしてまたさきほど私ども魚沼市に感謝状と記念の品を頂戴いたしました。本当に心より感謝申し上げます。先程来阿部会長様から魚沼市の活動について、本当に身に余るお言葉を頂戴しまして大変恐縮しているところであります。10年間の活動ということでありますが、これは高橋進さんが生まれた故郷である魚沼とご縁でいただいたというふうに思っております。むしろ私の方から皆様に感謝状をお渡ししなければならぬなど、本当に今日この場に生まれて、そんなことを感じました。



謝辞の大平魚沼市長

ります。ですが土地だけはいへん広く、947キロ平方メートルといってしまうと恐らく皆様方はいったいどれくらいかなと思われるかと思うんですが、東京23区の1.5倍あります。その中に3万9000人の人口です。本当に皆様には想像がつかないのではないのかなと思いますが、その中に森林資源が約86%ということに本当に緑豊かなところなんです。

魚沼は田舎といえば田舎なんです。これだけの資源を持つている、これは本当に誇りですね。これからこの資源をどうやって利用していくのかといま頭を悩ましてるところですが、そうした自然の中で子供たちに田植え稲刈りをやっていただいて、おそらく子供たちが自然を体験すると本物の

感動がそこにあるものだと思っております。今時代はグローバル化しております。特に都心に行きますと子供たちを国際的に活躍できる子供たちに育てたいというお話があります。だからこそもっともっと自然に親しんで、どんな国に行ってもしっかりと生きていける強い子供に育ててほしいなと思うっております。

この10年間の活動で皆様方がこうして時間をかけて魚沼に来ていただいた事に対しまして、あらためて感謝を申し上げ、そしてまたこれからもこれをご縁に末永いお付き合いをさせて頂ければと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

結びに玉川法人会の皆様方のお申すのご健勝とご繁栄を祈念を申し上げます。感謝の言葉とさせていただきます。



感謝状贈呈に伴う記念品  
「江戸切子 カガミクリスタル花器・花瓶 麻の葉に八角籠目紋」

魚沼市長プロフィール

氏名：大平悦子（おおだいら えつこ）

現住所：魚沼市古新田

主な略歴：

- 1998年 小出町教育委員
- 2003年 小出町議会議員
- 2004年 魚沼市議会議員
- 2008年 12月12日魚沼市長に就任
- 2012年 12月12日2期目就任

新潟県魚沼市

魚沼市（うおぬまし）は、新潟県の中越地方でも南東に位置し、2004年11月1日に北魚沼郡内のうち川口町以外の6町村が合併（新設合併）して誕生した市である。旧堀之内町地区は、かつて三国街道の宿場町（堀之内宿）として栄えた。また当市含め魚沼郡は稲作が盛んで、魚沼産コシヒカリは特に著名である。

周囲は山に囲まれた盆地であり冬期は2mから3mの積雪がある日本有数の「特別豪雪地帯」で東西約37kmと、南北約52kmと広大な面積を有する自然環境に恵まれた地域であり、総面積は新潟県の7.5%を占めているが、市内の86%は森林である。

# 我が家の防災対策

## 法人会に対する 防災への期待

東北から関東にかけて甚大な被害を及ぼした「東日本大震災」以来、人々の防災に関する関心は急速に高まったといえる。

しかし、個人が具体的に何をすればよいのかということ、いまひとつ理解されていないのが現状のようだ。

万一の災害に備えて水や食料のほか、石鹸やトイレットペーパーなどの日用品を普段から備蓄しているという人が増えつつあるのは確かに良い傾向だ。しかしそれだけでよいのだろうか。防災とは一体何なのだろう。

昨年、第一支部のバス研修で知り合ったおばあちゃんは、高齢にもかかわらず自ら率先して近所の住民を集め、手桶リレーの練習などの防災訓練を自主的におこなっていると聞いて感心した。

考えてみれば、災害時ほど消防車は直ぐに到着できないものだから、こうした一見原始的と思われる手段こそ地域を災害から救う唯一の手段なのかも知れない。

そう考えたとき、防災とは、「備え」と「いざという時の行動」が重要であって、それらはともに自分のためではなく他人のためにすることによって、それがやがては自分のためにもなるのだということに気付かされた。

最近では近所でも挨拶をしない人を多く見かけるが、こうした他人に対する関心が薄い人と、いざという時に助け合えるのか不安だ。法人会の事業がこうした人間同士の間をつなぐ一助になれば望ましいものだと考えている。  
(第1支部 広報委員 船本貴一)

## 我が家の防災対策

地球温暖化が原因なのかは不明ですが、近年の自然現象の猛威は、甚大な被害をもたらしています。全国各地で何十年に一度といわれるような災害となり、記録を塗り替える災害となっています。

昭和34年9月27日、5千人の死者・不明者をだした伊勢湾台風、新潟の我が家も大屋根ごと、風に飛ばされるといふ被害にあい

ました。また、平成16年には最大震度7の中越地震も体験し、更には、3年前の東日本大震災においては、全国民が言葉にならないほどの悲惨な経験をしました。

そんなことから、我が家では必然的に自然災害に対して、最低必要の備えをするようになりました。そこで、我が家では日頃より次の常備品を置くように心がけています。

- ① 水(2リットル×6本) 5〜10ケース
- ② 食料 2レトルト食品・乾麺・缶詰等
- ③ 石油ストーブ 煮炊・暖用、灯油も
- ④ スコップ 緊急?用(土掘り用)
- ⑤ ブルーシート 数枚(たまたま有った)
- ⑥ 救急薬品
- ⑦ 枕元には、懐中電灯、厚底スリッパ

「避難三日」とよく言われますが、地域の災害なら、被災から三日以内に必ず救援がきているようです。この三日間をどのようにして乗り越えるかを、家族構成や家族の成り立ちを考えて全員で確認し合い、どんな災害がおきたとしても、全員が無事でありますよう心がけていきたいと思っております。

(第4支部 広報委員 鈴木健二)

## 小さな防災対策2つ

750mlペリエを1ダース12本を常備しています

ペリエはフランスの炭酸入りミネラルウォーターとして有名です。炭酸水は、体内の乳酸を分解する働きがあるとのこと。朝飲むと身体がスッキリ。瓶はオシャレなので、ストックとはいっても写真のようにキッチンに並べて置いています。冷たくしてワイングラスでお出しすると、皆さんとても喜んでくださいます。

Amazonの定期便を活用して、ペリエのストックが切れないうようにしています。



軽量小型、電池不要の洋風ちようちん

重さはわずか100グラム。いつもバッグに入れていきます。太陽電池で点灯するソーラーランタンは直径約12・5センチ、高さ約11・2センチ。ビニール製で空気でふくらみ、折りたためば2・5センチほどの厚さに。生活防水で取手もついているので使いはいろいろです。太陽光で8時間



充電するとLEDで7〜8時間点灯します。「明かりのないところに明かりを届ける」を理念に米国企業が開発したそうで、危機管理協会の認定商品にもなっています。

(第6支部 広報委員 江口響子)

## 我が家の防災

直下型地震の破壊力と火災の怖さに慄いた「阪神・淡路大震災」から19年、自動車の運転中に異常な揺れを感じ、「関東大震災」の再来かと震撼した超巨大地震「東日本大震災」から僅か3年しか経っておりませんが『喉元過ぎれば、熱さを忘れる』と言う格言のごとく、日々

の雑務に追われているうちに我々凡人の頭からは、防災意識が薄れ始めており

ました。そんな折、『町内で一番にご担当頂いているので、ヨロ

シク』と突然、町内会の組長のご指名があり、家内とひと揉めした挙句、家庭内の力関係で負けた私がお役目を引き受けることになりました。今まで全く町会行事に参加したこともなかった私ですが、1年だけの約束で、町会役員会や町内防犯パトロール、公園掃除等に参加してはいますが、町会の行事に参加すると必然的に町内の各家庭の様子を知ることとなり、町内には、私を含め高齢者が多くなっていることに驚いています。

しかし町会の防災に関する意識は高く、大地震が発生した際の町内住民の安否確認や避難誘導、特に高齢者に対しては、きめ細かい対策が取り決められ、改めて「我が家の防災」についても見直す機会になりました。

現在、居住している横浜市都筑区は、港北ニュータウンの中にある新興住宅地ですが、代々続く地主や土地の事情に詳しい有力者と40才代の若い世帯から構成されている町会は、中々活気があり、高齢者にも住みやすい環境になっているようです。

平素からご近所の方々との交流を高めておくことは、非常時の際には、特に重要な対策ではないかと感じて昨今です。

参考のため、町会で頂いた「防

災の心得INDEX」の項目をご覧ください。

《防災の心得INDEX》

- 1 まず身の安全を確保。
- 2 慌てて屋外に飛び出さない
- 3 すばやく火の始末
- 4 扉や窓を開けて脱出口を確保
- 5 家具から離れる
- 6 屋内のガラスの破片に注意
- 7 火が出たらすぐ消火
- 8 協力し合って応急救護
- 9 隣近所と声をかけあつて
- 10 正しい情報を聞こう

(副会長 第8支部 坂東義治)

やがて来るであろう  
《大震災》への備えは  
万全か、つて？

昨年、「2020夏季五輪」の開催地が「TOKYO」となった時、真つ先に頭に浮かんだのは「地震とのタイミングがヤバくないか？」ということだった。ちなみに先の「東京五輪」では、新潟を大地震が襲っている。地震が多発するわが国では、殊に関東地域での地震の確率が高い(と言われている)中での開催ということもあり、震災への対策が五輪開催地としての大きな根幹の一つになるだろう。

振り返って、そんな地域内にあ



るわが社はどうかなのか？

かつて阪神淡路大震災の時に、いざ必要になるかもしれないと考え、社内の「被災時マニュアル」を作成したことがある。社員毎の自宅を記した地図を作成し、勤務中、あるいは在宅中等の被災時の留意点等を記載していった。出来上がった時には「なかなか良いものができた」と思い、ペーパーファイル（災害時はPCが使えない）で会社と管理者で保管とした。しかしながら、これではうまく管理できないことがすぐに判明した。部分的な修正を加えながらも、そのうち何も起こらない日常に「被災時マニュアル」は埋没していった。「私たちを忘れないで」という声は届いていても、そのうち「明日やるから」と言い訳するようになった。ほんとうは（その時）には、「明日」なんかないのに。

現在のそのような通信網の発達とデータ収集法の充実は、過去のような管理上の組立の面倒さをずいぶん軽減してくれるようだ。けれども先の東日本大震災は、私たちが社を離れていた時に起きた。それ以前に社では、某IT企業から「通信料が格段に安くなる」とかの誘い文句に絆されて、店舗管理者にはその会社のモバイルを渡して

いた。しかし、私が持っていた携帯とは、なんとその時メール通信ができなかった。電話回線は一杯だがメール通信は可能との情報からだだったが、肝心な時に夕ダのおもちゃに成り果て、私は帰宅難民の群れの只中で孤立状態にあつて、相当に頭に来ていた。片っぱしから他の社員に通信を試みて、ようやく数名と繋がり状況確認と指示ができた。平常時に慣れ過ぎたシステムは、どこやらの組織と一緒に、縦の系統は流れていても横系統での意思疎通がなく、混乱時にはほとんどその利用価値がない。世に蔓延る、いわゆる責任転嫁の温床といえる。

私のように頭にきた人たちがよほど多かったのか、あるいはシステムのダメさ加減に懲りたのか、その後そうした通信網における不都合は解消されてきたようだ。現在のような多機能モバイルの浸透は、会社内の災害対策を急速に進展させたことだろう。

今回の『公論』の特集は、わが社でも改めて現在での「マニュアル」を組み立てておこうかな、という契機になるかもしれない。

で、いつやるの？

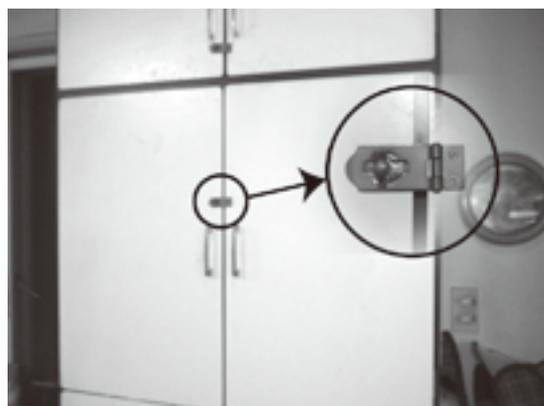
そして、この設問に対して「明日」はない。

（副会長 第9支部 大鎌 博）

## 地震への備え

先だつての東日本大震災は、本当に不意打ちで、携帯の電池が切れるのと繋がらないので全くのお手上げ状態でした。備蓄などもほとんど無く、これが東京直下型だつたりしたらどうなつていたのか、ゾツとしました。しかしその後、熱心に対策をたてたかという、あまり変わっていない気がします。食器棚の扉が開かないように、鍵をつけたことと、ペットボトルに水を入れて廊下に並べるくらいのことでしょうか。

馬事公苑のイベントで、起震車というものに乗ったことがあります。大きなコンテナのようなトラックの中にお茶の間と小さい卓があり、そこに座っていると、「震度3です」という声が聞こえて、お茶の間が揺れます。「震度6」くらいまでは、こんなものかといささか夕力をくくってしました。しかし「震度7 関東大震災と同じ揺れです」といってからの揺れはまさに異次元の衝撃でした。何もできず、ただ畳みにしがみついているのが精一杯、凄まじいものでした。それを思いだすたびに、あんな地震がきたら、本当に世の中どうなるんだらうと暗然と



扉の鍵

します。

1年365日。暑い日、寒い日。会社で仕事をしているか家でくつろいでいるか、外を歩いている時、乗り物に乗っている時、どんな状況下で地震に遭遇するかで準備の仕方も変わります。また家族に病人がいたり、自身が、かなりの高齢者になっていけば、対処も難しくなります。

備蓄食料についても、例えば避難所で、着の身着のまま逃げてきた人の中で、完璧な備えをしていた家族だけが、食事をしていたかどうか。いたたまれなくて、そっと隠れて食べるかもしれないですね。その時は皆で備蓄したものを出し合つて、分け

合うような状況になっていいるかも知れないし、わかりません。

備えは確かに大事だし、それは決して否定しませんが、もっとご近所どうしで助けあう。そのため日頃からのコミュニケーションが大事だと思います。法人会は地域の組織なのできつと大きな力になると思います。そのために今からできることを考えて訓練などすることも大切ですね。

そして企業の使命として、一日も早い企業活動の復帰が大事になります。東日本大震災でも、復旧の遅れた企業は、早く立ち直った企業に顧客を取られ、倒産した例もあったそうです。従業員の安否。家族の安否。顧客への対応。いかに事業を早く継続させていくか。課題は山積です。

(第9支部 広報委員 松山 仁)

## 我が家の防災

私の家は代々木公園の近くにありますので、漠然と大きな地震等があつて家に帰れない時は「代々木公園に避難し、公園のこの場所」で落ち合ひましょう」と云うことだけは確認し合っていました。

それと震災グッズとして手回し式のライト(ラジオ・スマホ充電

機能付き)だけは用意してあります。しかしこれだけで後は何にもしておりません。

今回「公論」で防災の特集をするとの事でこれはもう少し真剣に考えなければと思います。東京都の防災管理課に「大地震時に代々木公園に避難したら水とか食料とか手に入りませんか?どのようなサービスを受けますか?」と聞いたところ電話に出た人はわからず:替りますと言つてしばらく時間がかかつて出た人が言うには「代々木公園は火災とか倒壊で一時的に避難する場所で避難所ではない、自宅が被害に遭い生活できない時は、区役所で決められた避難所に避難して下さい。後は区役所に聞いて下さい」と言われました。

ちよつと勉強になりました。

避難場所と避難所とは違うんだとか、詳細な具体的な話を聞きたいなら区役所に聞いた方がいいとか。

我が家もこの事から、落ち合う場所そして避難所も区役所の指定の家から近い中学校にすることにしました。

避難グッズについては今回の「公論」に掲載されたものを参考にさせて頂いた。だき購入したいと思いません。

(副会長 広報委員長 森 栄)

## 我が家の防災対策

地震が起きて丸山家の家族はしばらくになつた時は馬事公苑に集まることになつていいる。

馬事公苑に集まることは家族全員認識していいる、「てんでんこ」の言葉の通り。生きていれば、馬事公苑に集まれと。

私の姉は福島で被災していいる。何が足りなかつたかは水と食料と聞いていいる。会社の上階にて住んでいいる私としては会社の備蓄の存在を知つていいて、会社の備蓄は水とカレーであり。120食ほど備蓄してある。ガスボンベも準備してあり、炊き出しには十分な設備



備えがあれば安心です

になつていいる。福島の姉は1週間ほどの水と食べ物で過去の苦労から準備していいるそうである。経験者は被災した苦労を忘れないことが大事と心得る。

原点に戻れば日本は昔飢饉があり、お百姓さんは古米を備蓄し古米を食べて飢饉に備えていいて、新米を食べなかつた時代を思い出します。日本におけるエネルギーの備蓄も必要なんだと感じます。私のおなかの脂肪という備蓄は人並み以上であり、過剰な備蓄と心得ておりません。健康のためにも適正な備蓄にしたいものです。

(第11支部 支部長 丸山正高)

## 我が家の大震災の備え

我が家は、5年前から大震災に備え、「自給自足のスマートライフスタイル」を目指して取り組んで来ました。

24時間、電気が使用出来れば、1週間程度は生活維持ができ、なお地域の皆様にもご利用頂き、地域貢献が出来ると思ひます。

東日本大震災以降、節電や省エネ、災害対策への関心が高まり、電力会社の電気だけに頼るのではなく、自宅で発電する暮らしを始められていいます。



さらに、災害時のリスク軽減のためにも、家電、照明など、電気が得意なことは電気を使い、給湯、コンロ、床暖房など、LPガスが得意なことはLPガスを使って、ガスと電気をうまく組み合わせる「エネルギーのベストミックス」を行っており、快適な暮らしをしております。

又、我が家は、井戸水が出るので、24時間、水、電気、ガスが利用でき、備えは完璧だと思います。皆様、インフラが止まった時は、食料持参で、ぜひ来て下さい。

(副会長 第12支部 若山 晶)



6年間保存のできる水も準備しています

### 防災に対する備え

阪神の震災より早や10数年がたちましたが、当時神戸住まいの知人が、開口一番、夜休む時は必ず枕元に懐中電気を手のとどく所に置いて寝るようにという事でした。私は、それを聞いた日から現在迄、手探りでもわかるように懐中電気と携帯は置いて寝ています。又ガラスの破片で足を怪我しないように、未使用の靴も一緒に置いてあります。

又玄関にはいつでも持ち出せるよう、多機能ザックとヘルメット、

因みに災害時に一番必要な飲料水はプレミアム6年保存水のボトルをカートンごと置いてあります。

但しいつも自問自答している事はあの3・11の午後2時46分私はバス停におりましたが、この揺れは普通とはちがうと感じ、自販機の前にいた、小学生を倒れるからどくように注意するのが精一杯で、実際災害時に狼狽えず準備しているグッズをうまく使いこなせるかが、疑問ではないでしょうか。

因みに前に述べた多機能ザックは、水に落ちてても浮かぶ仕組みになっていきます。重量の目安は80kg、荷物を入れた状態では80%〜90%の浮力値になります。

(第12支部 広報委員 末次 顕子)

### 我が家の防災の備え

2011年3月11日の午後、取引先から戻る途中の私は、東急東横線の多摩川駅の車両の中にいました。初めて体験する大きな地震。車両が除々に振り子のように揺れ出し、何が起きているのか？という混乱と不安のまま、揺れの収まりを待ちました。すぐに事務所に戻ろうと、約7kmの道のりを歩き始めたものの、電話は全く繋がらず、この後どう行動す

ればよいのかなどの情報が入手できません。

そこで、持っていたPHSでパソコンをインターネットに接続すると、なんとスムーズに繋がったのです。メールやskypeで仕事仲間や取引先、友人などへの連絡をとったほか、ニュースやツイッターで情報入手することができ、少しほっとしたことを覚えていきます。

実は最近PHSを手放してしまつたので、この機会に代替案を考えなければ。正確な情報を入力して速やかに行動することは、自分の安全を確保し、また周りの方のサポートに繋がると思っています。水や食糧の備蓄はもちろん、正しい情報を取得・選択し、どんな時でも冷静に行動していくことを目指したいと思います。

### これから活用したいサービス

- ・世田谷区の公式twitter  
[https://twitter.com/city\\_setagaya](https://twitter.com/city_setagaya)  
 ツイッターの登録をしなくても見られるので便利。
- ・NTT災害用伝言ダイヤル  
<http://www.ntt.co.jp/saitai/171.html>

(青年部会 広報委員 上田 恭子)

# 世田谷区防災マップアプリ

「世田谷区ホームページより引用」

紙のマップやホームページ上で提供している「災害時区民行動マニュアルマップ版」をスマートフォン用アプリとして公開しました。

Android2.2以上、iOS4.3以上でご利用いただけます。Google Play、AppStoreでダウンロードすることができます。

GooglePlayダウンロードページ [play.google.com/store/apps/details](http://play.google.com/store/apps/details)



AppStoreダウンロードページ [itunes.apple.com/jp/app/id750726964](http://itunes.apple.com/jp/app/id750726964)



## 機能概要

### 1. 防災マップ

事前に地図をダウンロードするため、通信が利用できない状況でも地図を閲覧することができます。GPS機能がある端末では最寄の避難所や広域避難場所を検索することができます。

### 2. マニュアル

いざというときに、気になったときにすぐ災害時区民行動マニュアルを確認できます。

### 3. 防災メモ

予め決めた避難所をメモしておくことができ、その避難所近辺の地図を簡単に呼び出せます。利用者本人や家族のメモを残すことができ、いざというときのために常備薬や血液型などをメモしておくことができます。



このページについてのお問い合わせ先

危機管理室 災害対策課  
電話番号 03-5432-2262 ファクシミリ 03-5432-3014